三重県鳥羽市の海ごみ対策

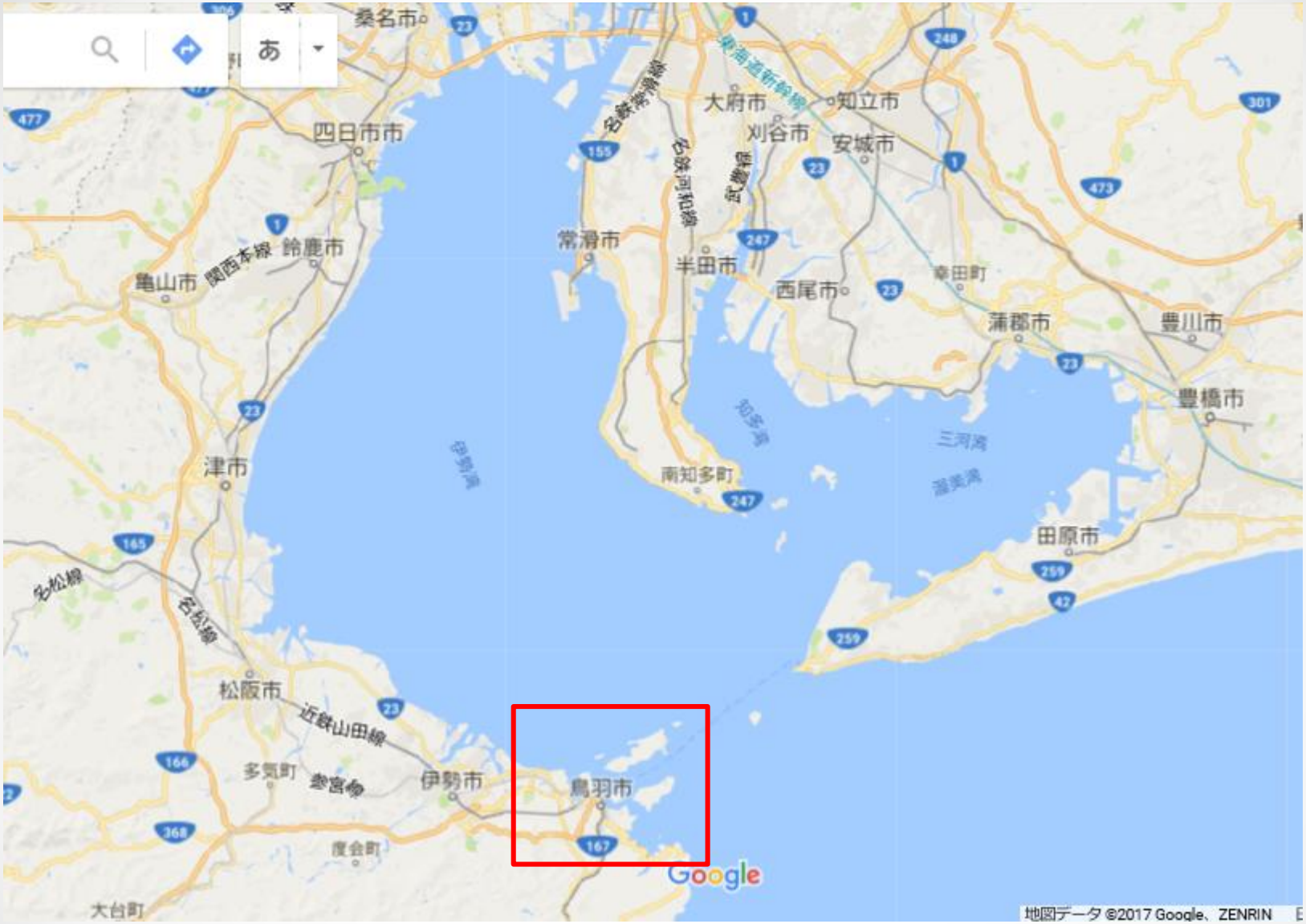
鳥羽市役所　環境課　環境保全係　山口朱成

２０２３年１月２８日（土）
第８回　川ごみサミット

1．鳥羽市の概要

【位　　置】　東経　136°50′　北緯　34°28′
【面　　積】　107.34平方キロメートル
【人　　口】　17,437人（男8,238人・女9,199人）（8,258世帯）
※2022.3末現在
【有人離島】　神島、菅島、答志島、坂手島
【　　川　　】　加茂川
【主要産業】　観光業、水産業

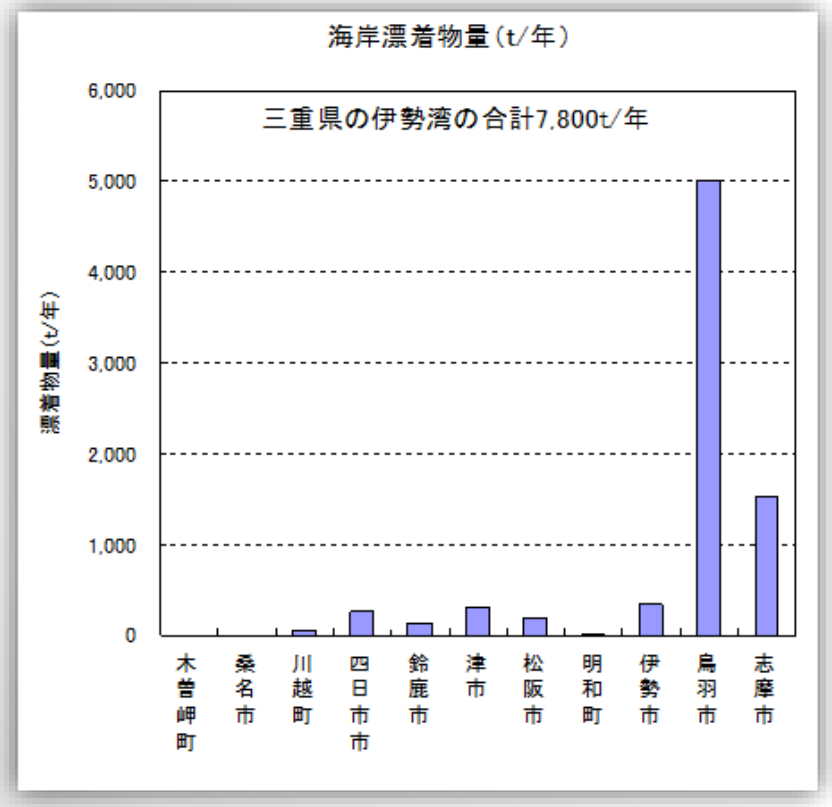
日本海
日本
東京
名古屋
大阪
ソウル
서울
韓民国
プサン
부산


桑名市
四日市市
亀山市
鈴鹿市
関西本線
津市
松阪市
近鉄山田線
多気町
伊勢市
鳥羽市
度会町
大台町
名松線
伊勢湾
常滑市
半田市
大府市
知立市
刈谷市
安城市
西尾市
幸田町
蒲郡市
豊川市
豊橋市
田原市
南知多町
知多湾
三河湾
渥美湾
東海道新幹線
名鉄常滑線
名鉄河和線
武豊線
Google
地図データ ©2017 Google、ZENRIN

奈佐の浜
桃取港

2. 三重県の海ごみ試算

①伊勢湾（三重県側）での
漂着物量の試算結果



②伊勢湾内に漂着する
漂着物量の推計

地域			重量(t/年)
三重県	木曽岬町		6
	桑名市		1
	川越町		49
	四日市市		262
	鈴鹿市		134
	津市		322
	松阪市		178
	明和町		13
	伊勢市		337
	鳥羽市	答志島以外	2,026
		答志島	2,978
		計	5,004
	志摩市		1,517
三重県			7,822
愛知県			3,833
伊勢湾			11,654

伊勢湾流域を発生源とする海ごみは、年間11,000ｔを超えるといわれています。そのうち約5,000ｔが三重県の鳥羽市に漂着ごみとして打ち上げられ、奈良の浜を含む答志島には約3,000ｔが漂着するとされています。

日本海側は、ほぼ他国から排出されたごみが流れ着くものですが、三重県鳥羽市においては国内で排出されたごみが流れ着いている状況となっています。

また、伊勢湾に流れ込む河川が雨で増水し、流木等が発生すると、漁業の操業が困難になったり、養殖業に多大な被害があったりします。

本市の海ごみ被害の状況は次の写真のとおり

YAMAHA
60

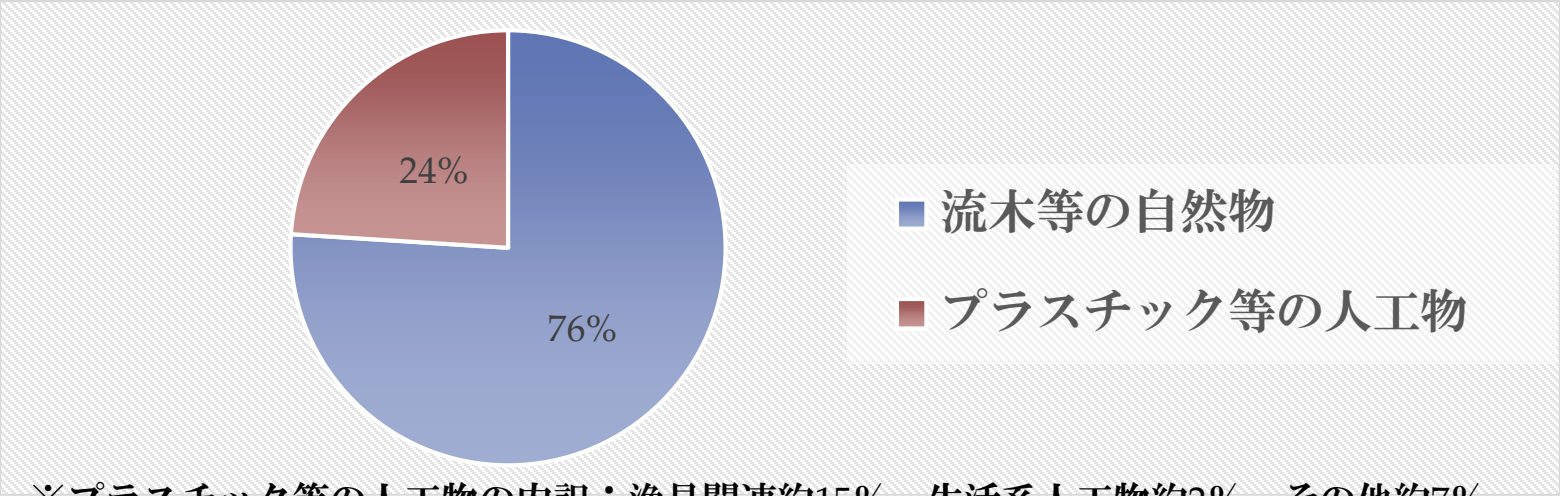
３．奈佐の浜の海ごみ

今や太平洋側の海ごみ問題では有名になってしまった奈佐の浜であるが、１９９０年ごろまでは非常にきれいな遠浅の海岸で海水浴も盛んにおこなわれていた。それ以降徐々にごみが増え始め１９９８年ごろから顕著になり、現在は海ごみが常時流れ着く海岸になってしまった。

多くの方々にボランティアにて漂着ごみの回収をしていただいておりますが、集められたごみは、市の負担で処理している状況です。

●奈佐の浜に漂着するごみの内訳（2022.1.12三重県調査）

■漂着ごみ総重量　629.72ｋｇの内訳



※プラスチック等の人工物の内訳：漁具関連約15%、生活系人工物約2%、その他約7%

４.海ごみに対する活動

活動としましては、様々な団体に協力をいただいております。市でも予算の範囲内でできる限りの活動はしております。詳細は次のとおりです。

①環境パトロール（市）

海に流れる可能性のある路上等のごみを回収し、漂着ごみにならないよう未然防止に努めています。

この事業につきましては、三重県海岸漂着物等対策事業補助金を活用しております。

②漂着ごみ回収・処理（市）

400万円程度の予算で市内の海岸を優先度の高い順に回収・処理事業を行っております。

また、漂着物の災害時の対応としても毎年600万円程度予算措置をしております。

この事業につきましては、三重県海岸漂着物等対策事業補助金を活用しております。

③海ごみサミット（民）

一般社団法人ＪＥＡＮ主催で行われている活動で、海洋ごみ問題のさまざまな情報共有と、対策推進のために、年一回開催している全国規模の会議です。毎回、開催地を変え、国や自治体などの行政関係者、NGO/NPO、民間事業者、研究者、住民などが一堂に会し、海外からのゲストとともに、各地の課題や状況の共有、具体的な対策についての意見交換をしています。2016年は、2008年の鳥羽会議についで2回目となる三重県での開催でした。

④22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会（民）

東海3県のごみが漂着物となって鳥羽市に集まる現状を知り、そこから東海3県の市民団体が集い、様々な会議等で川と海の連携等が議論されたのち、平成24年4月1日に発足した市民団体であります。

現在は三重県鳥羽市答志島奈佐の浜での清掃活動のほか、愛知県・岐阜県での清掃活動や勉強会、森林保全活動などを行い、漂着ごみの回収から発生源対策、発生抑制など幅広い活動を行っています。

⑤鳥羽清港会　海の大掃除（民）

　鳥羽清港会とは市内の事業所や市民団体が中心で組織されている市民団体で「鳥羽市の宝である海を美しく保つためみんなできれいにする運動の輪を広げよう」を合言葉に市内の各種団体の方々が清掃ボランティアを行い、活動を継続しています。

　活動は毎年７月の第２土曜日に開催をしており、昭和52年から継続して行われているもので、毎年約200名の方に参加していただき、環境問題に対する意識の高揚に努めています。

⑥南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議（行）

　毎年、南勢志摩地域の海岸等で水辺のごみ実態調査を行っています。これにより海岸漂着物の現状を体感し、今後の発生抑制に向けての行動につなげようとしています。

⑦きれいな伊勢志摩づくり連絡会議（民）

　上記の南勢志摩地域漂着物対策連絡会議と常に連携した活動を展開している民間団体です。水辺のごみ実態調査をはじめ、様々な講演会を開催するなど啓発活動を中心に行っております。

⑧その他ボランティア活動（民）

　上記の活動による宣伝効果で、清掃活動に年間3,000人程度のボランティアを受け入れるまでになりました。令和3年度のボランティア活動を含む清掃活動等は次のとおりです。

令和3年度　清掃活動等一覧

事業名	種類	場　所	清掃日	ボランティア参加人数	ごみ回収量				備　考
					可燃ごみ	不燃ごみ（カン、ビン、鉄等）	大きなゴミ（流木等）	合計	
ビーチクリーン	漂着ごみ	海の博物館ビーチ	2021年4月9日	50名	420kg			420kg	
ボランティア清掃	漂着ごみ	答志サンシャインビーチ	2021年4月10日	200名	30kg	5kg		35kg	
ボランティア清掃	漂着ごみ	中村屋前海岸	2021年4月18日	10名	15kg	8kg		23kg	
漂着物調査隊!集めて作ろう!!フォトフレーム	漂着ごみ	小浜漁港、広畑の浜	令和3年6月27日	25名	10kg			10kg	
ビーチクリーン	漂着ごみ	海の博物館ビーチ	2021年7月16日	25名	10kg			10kg	30ℓ×20
ビーチクリーン	漂着ごみ	ふのこし～安楽島海水浴場	2021年8月8日	50名	50kg			50kg	
海岸清掃	漂着ごみ	答志白浜海岸	2021年9月25日	20名	150kg			150kg	
海岸清掃	漂着ごみ	小浜町広畑海岸	2021年10月21日	50名	5kg	20kg		25kg	
海岸清掃	漂着ごみ	答志島中村屋前海岸	2021年10月23日	30名	10kg			10kg	
海岸清掃	漂着ごみ	小浜町広畑海岸	2021年10月26日	37名	20kg	5kg		25kg	
海岸清掃	漂着ごみ	答志島奈佐の浜海岸	2021年11月2日	41名	150kg	10kg	100kg	260kg	
海岸清掃	漂着ごみ	小浜町広畑海岸	2021年11月9日	38名	10kg	5kg		15kg	
ビーチクリーン	漂着ごみ	白浜海水浴場	2022年3月12日	14名	50kg	10kg		60kg	
合計				540名	510kg	63kg	100kg	673kg	

５．鳥羽市の海ごみ処理の現状

種類	処理主体	処理方法
海岸管理者や港湾管理者が委託事業で回収した漂着ごみ	海岸管理者や港湾管理者	民間業者にて一般廃棄物処理
ボランティアが回収した漂着ごみ	鳥羽市	公共施設で一般廃棄物処理

※鳥羽市の海岸等管理状況
漁　港：鳥羽市、三重県
港　湾：三重県
農地海岸：三重県
建設海岸：三重県
その他海岸：鳥羽市、民有地

６．課題と成果

【課題】

- 現状は海ごみが目に見えるほど減少した印象はない。
- 市民をはじめとしたボランティアの方々の更なる協力
- ポイ捨てや不法投棄はまだまだある。
- 海や海ごみへの関心度の低さ
- 漁業者の漁具の管理問題
- 川ごみ、陸ごみの時点での発生源対策の更なる徹底
- プラスチックの製造段階からの抑制

【成果】

- 海ごみ問題の理解者は増えている。
- 民間のボランティア活動は活性化しつつある。
- 清掃ボランティアを目的に観光に来る人も出てきている。
- 成果が出てくるのはこれから・・・

この美しい海を次世代に…

とばの海をまもるプロジェクト

環境課環境保全係 ☎ ㉕1147

答志島奈佐の浜海岸清掃の様子

身近な海や川は、私たちの生活と密接につながっています。街で見かけるポイ捨てごみや散乱ごみ、その行き着く先は海や川であることはご存じですか?

市ではごみの流出対策として、ごみ拾いSNS「ピリカ」などを活用し、みなさんの清掃活動を見える化する「とばの海をまもるプロジェクト」を2月1日より開始します。

●このプロジェクトの仕組み

世界100以上の国と地域で利用されている、ごみ拾いSNSピリカを活用したごみ拾い活動を行うことで、本市清掃活動見える化ページに投稿が反映され、市内の清掃活動のようすが可視化される仕組みです。ぜひプロジェクトに参加してください。

●SNSピリカでできること

1) ごみを拾って、撮影して、投稿することで、ごみの量や場所などを簡単に集計、発信ができます。
2) ユーザー同士でコメントを送り合うことができます。
3) 地域のごみ拾いイベントなどの情報収集や、発信も可能です。

●プロジェクトへの参加方法

●このプロジェクトのPRを担うのは山田優選手

鳥羽市出身で、東京オリンピックフェンシング男子エペ団体金メダリストの山田優選手は、現在、鳥羽市ふるさと応援大使でもあります。廃棄物関連の企業に所属しており、環境に対する意識も高く、昨年10月の奈佐の浜海岸清掃にも参加しています。

山田選手コメント

私の生まれ育った町である鳥羽市は住んでいるかたはもちろん、観光客のかたなどたくさんのかたから愛されてきました。より多くのかたに鳥羽に足を運んでいただき、みなさまから「鳥羽の海は綺麗だね、来てよかった」と言っていただけるような場所にするために、私にできることを精一杯頑張ります。

みんなで美しい鳥羽の実現へ!